

# 修徒の習文



今回は、私の日頃の活動と想いを書かせていただきます。

日々、妙君寺で仏祖にご給仕させて頂いておりますが、僧侶としての活動の場は、お寺の外にもあります。他のお寺で法話をする、法要に出る、また月に二回ほどは木曾川の町を太鼓を叩き、お題目を唱えながら行脚(あんぎや)をしています。



近年僧侶の姿を町で見かけなくなりました。お経先へ車移動をしているからなのですが、少し寂しい気も致します

私は僧侶として、町の人に姿を見て頂く事も布教であると思っています。袈裟を身に付け、僧侶の姿で町に出て、

「南無妙法蓮華経」のお題目の声を多くの方に聞いていただく。お題目との縁をより多くの方に結んでいただきたいの思いから行脚を行っています。

また、お寺においては毎朝のお勤めを行い、仏祖への御給仕、檀信徒各家のご先祖の供養回向、各家の家内安全の祈願回向を行うことから一日が始まります。

日頃、皆様からご相談もお受けしています。お子様の事、家の事、身体の事など様々なお話を受け止め、確実に祈る事で、救いの光を頂ける。本当に有難く、仏祖の存在に感謝せずにはられません。



星祭りでのご祈禱

これからも、諸々の相談やお経練習会(量信会)、月参りなどを通して、正しい信仰を皆様にお伝えし続けていきます。

また、特別な時でなくても、何気ない話や、質問でもお話くださいね。

